

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(20年11月分)

1. 調査実施期間 平成20年 10月20日 ~11月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

11月分の回答企業数は43社、回収率は89.6%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		20/11月	12月	21/1月
仕入動向	国産材	△ 18.2	△ 13.6	△ 17.2
	外材	△ 23.7	△ 21.1	△ 24.3
販売動向	国産材	△ 18.2	△ 16.7	△ 23.4
	外材	△ 22.4	△ 25.4	△ 26.4
在庫動向	国産材	△ 7.6	△ 7.6	△ 9.4
	外材	△ 14.9	△ 20.3	△ 20.8

仕入は、国産材、外材とも大きなマイナス幅で横ばい弱含み。販売は、国産材、外材とも大きなマイナス幅と一層厳しい状況。

在庫は、国産材小さなマイナス幅でほぼ横ばい。また外材大きなマイナス幅と懸念の様子。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	20/11月	12月	21/1月
スギ正角(グリーン)	0.0	2.2	△ 2.3
スギ正角(KD)	0.0	2.2	0.0
ヒノキ正角	0.0	2.1	4.3
ヒノキ土台角	2.0	4.0	2.1
米ツガ正角(現地挽)	△ 4.3	△ 2.2	2.2
米ツガ防腐土台角	0.0	△ 2.2	0.0
米ツガ割物(現地挽)	△ 4.2	△ 4.2	0.0
米マツ平角	2.2	△ 2.2	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	54.3	27.1	19.6
ホワイトウッド集成管柱	△ 4.0	△ 4.0	△ 4.2
レッドウッド集成平角	4.5	△ 2.3	△ 7.1
型枠合板(国産)	5.6	△ 11.1	△ 11.1
型枠合板(輸入)	2.5	△ 12.5	△ 7.9
針葉樹合板	0.0	△ 7.5	△ 2.6

スギ正角(グリーン、KD)プラス幅、ゼロ、小さなマイナス幅と堅調な推移。ヒノキ正角、土台角とも小さなプラス幅で好調である。

米ツガ正角、防腐土台角、割物はいずれも先行きゼロ、プラス幅と安定して好調気配。

米マツ平角プラスからゼロと上下あるが好調横ばい。

北洋アカマツタルキは一段の大きなプラス幅を半減したが絶好調言うまでもない。

ホワイトウッド集成管柱、レッドウッド集成平角とも先行きマイナス幅と陰りが注視される。

合板はプラスからマイナスへ回復気配失ってきている。

1. 荷動き		コメント
仕入 動向	米マツ一般材丸太では、米材輸出価格が10月積みも値上りだが、11月積みは据え置かれる状況。カナダ材は相変わらず出材は少ないものの輸出価は頭打ちで、前月に比べ状況は変化している。(東京:米材問屋)	
	カナダからの大幅入荷減で困窮している。(東京:米材問屋)	
	為替と仕事の先行きが分からないため、仕入れを控える。(東京:米材問屋)	
	売れ行きは完全に頭打ち。仕入れは慎重にならざるを得ない。(東京:米材問屋)	
	産地価格は強含み。円高為替で逆に産地側は強気。(東京:南洋材問屋)	
	マレーシアは雨が多く、原木は出材しないため引き合い少ない。中国も原料少なく引き合い少ない。(東京:南洋材問屋)	
	今月仕入れ分から円高効果多少あり、売価は横ばいを目指す。(東京:南洋材問屋)	
	最近秋田の取引先が3社無くなったので他社からの売込みが頻繁にある。アカマツ現地挽きタルキ相変わらず少量しか手当てできない。(東京:国産材問屋)	
	新材が出てくるので在庫は増す。(東京:国産材問屋)	
	市場に処分品の材が大分出回っていて、単価があるようで無い。(東京:国産材問屋)	
今年一杯相場弱気配。荷動きが悪い。(東京:国産材問屋)		
秋になっても素材入荷が増えず、製品入荷が増えない。(東海:国産材問屋)		
いよいよ年末、相変わらず動き悪い。仕入れ意欲未だ無く当用買いのみ。(東京:仲買小売)		
需要の低迷、得意先の不安定により売上の増大は見込み薄。先行き不透明のため仕入れは控え目に成らざるを得ない。(大阪:仲買小売)		
販売 動向	米マツ一般材丸太では、為替円高基調の中、10月入荷分のコストが一番高値をつけており、問屋も値上げ出来ず非常に厳しい状況。(東京:米材問屋)	
	細かい受注が多く忙しい。単価面では依然厳しい。(東京:南洋材問屋)	
	注文材引き合いは多いが、バンドルの荷動きは悪い。(東京:南洋材問屋)	
	徹底した当用買いで動き鈍い。(東京:米材問屋)	
	見積りの電話も少なくなり、益々不況感が出てきた。(東京:米材問屋)	
	プレカットの仕事が出る予定。細かいながら動いている。(東京:国産材問屋)	
	入荷減になって丁度調整が取れている感じ。ヒノキ柱は相変わらず動き悪い。(東海:国産材問屋)	
	この先どうなるか先が見えない。工務店、木材業界とも完全に萎縮している。(東京:仲買小売)	
在 庫 動 向	夏以降、急激に荷動き低下。着工戸数の数字と現実の荷動きの違いが非常に大きい。(東京:仲買小売)	
	販売は全く動かず。リフォーム工事も11月になると受注が無くなり12月は早くも正月か？(東京:仲買小売)	
	9、10月とまとまったリフォーム工事があり、何とかしのいできたが、今月は厳しそう。先行き不安要素のみ。(東京:仲買小売)	
	町場の仕事はそこそこ出ている。ただし入金ペースが遅くなっている。(東京:仲買小売)	
	米材一般材丸太、カスケード役物丸太とも問屋の手持在庫は多く、年内の京浜港への本船入荷の可能性は無い。(東京:米材問屋)	
埠頭在庫も少なく、欠品アイテムが目立つ。無い物(寸法)はどの樹種でも無い感じがする。(東京:南洋材問屋)		
仕入れ慎重で在庫は少々減少気味。(東京:米材問屋)		
大幅在庫減でも客先慌てず。(東京:米材問屋)		
値上げでも見通しなくては当用買い。(東京:仲買)		
2. 価格動向		
スギ正角	九州材が入荷減により90cm角×4mあたりが2,000～3,000円の上昇。(東海:国産材問屋)	
ヒノキ正角	とっぴ安値の柱は無くなった。(東京:問屋)	
土台角		
米ツガ	売りは弱含みで推移している。(東京:米材問屋)	
米マツ平角	売れ行き不調、単価は今の所保合い。(東京:問屋)	
北洋アカマツタルキ	価格がどの辺で落ち着くのか目下最大の関心事。(東京:仲買小売)	
	入荷少なく仕入れ値強気。(東京:仲買小売)	
WW・RW集成材	メーカー値上げしたいが逆に下がる。管柱RW平角は米マツKD平角にひっくり返され苦戦。(東京:問屋)	
	RW:ユーロ安で先行き安くなるかもしれない。(東京:問屋)	
合板	住宅着工数の鈍り、また降雪の季節にもなるので需要が減少。価格も上げられず。(東京:仲買)	
	荷動きも悪くなり価格下落は避けられないであろう。(東京:仲買)	